



JBL BAR STUDIO



 DOLBY AUDIO™

 HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

 Bluetooth®

取扱説明書

目次

1. はじめに	3	9. 製品の仕様	7
2. 同梱品	3	概要	7
3. サウンドバーの設置	3	入力および出力	7
テーブルにサウンドバーを設置	3	BLUETOOTHセクション	7
サウンドバーの壁への取り付け	3	製品寸法と重量	7
4. サウンドバーの接続	4	10. トラブルシューティング	8
お持ちのTVへのサウンドバーの接続	4	システム	8
サウンドバーを他のデバイスに接続	4	サウンド	8
サウンドバーシステムの電源を入れる	4	BLUETOOTH	8
5. サウンドバーシステムを使う	4	リモコン	8
コントロール	4		
サウンドバーでBLUETOOTH機能を使う	5		
USBデバイスを使う	5		
6. サウンドの設定	6		
開始する前に	6		
ボリュームの調整	6		
サウンド・エフェクトを選択する	6		
7. お持ちのTVリモコンに対応	6		
サムスン、LG、ソニー、VIZIO製の大部分のTVに対応	6		
その他のTVに対応	7		
8. システム	7		
1. オートスタンバイ	7		
2. オート・ウェイクアップ	7		
3. 工場出荷時の設定の適用	7		
4. ソフトウェア・アップデート	7		

1.はじめに

JBL Bar Studio(バースタジオ)をお買い上げいただきありがとうございます。JBL Bar Studioはホームエンターテインメント・システムに迫力のサウンドを実現しています。ご使用になる前に、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。製品の説明と、設定してスタートするための手順が段階を追って記載されています。

ご質問：JBL Bar Studioの設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店または注文された設置業者、または弊社のウェブサイト、www.JBL.comにご連絡ください。

2.同梱品

サウンドバー



x1

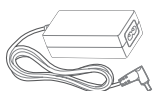
リモコン

リモコンの電池サイズ:CR2025



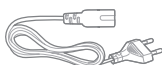
x1

電源アダプター
(4フィート、1200mm)



x1

電源ケーブル*
(5フィート、1500mm)



x1

*電源ケーブルのタイプと数値は地域によって異なります

光端子ケーブル
(4フィート、1200mm)



x1

AUX端子ケーブル
(4フィート、1200mm)



x1

壁取り付け用ブラケット



x1

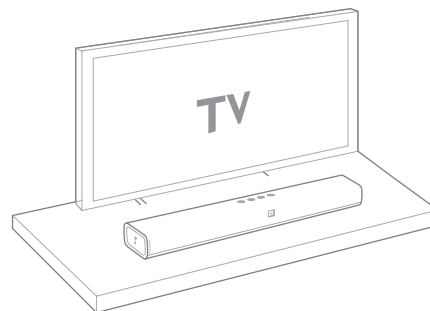
製品情報&壁取り付け用ガイド



x1

3.サウンドバーの設置

3a.テーブル上にサウンドバーを設置



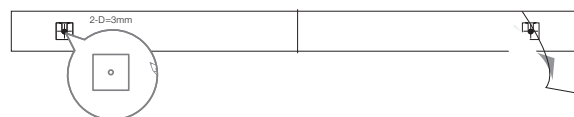
3b.サウンドバーの壁への設置

セロテープ等を使って壁掛け用ペーパーガイドを壁に貼り付け、各取り付け穴の中央部に当たる位置にペン等を押しつけて、壁掛け用金具の位置をマークしてからペーパーを外してください。

x1



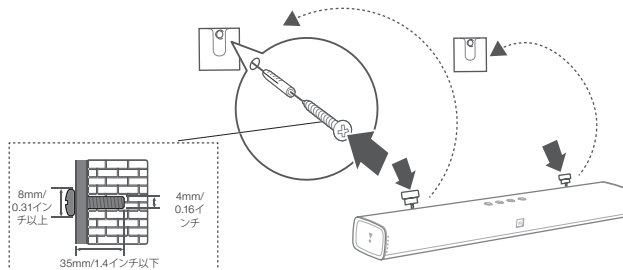
x1



x1

ペン等でマークした位置に壁掛け用金具をねじ込んでください。サウンドバーの背部にねじ式の取り付けパーツをねじ込みます。次に、サウンドバーを壁に掛けてください。

x1



x1

4. サウンドバーの接続

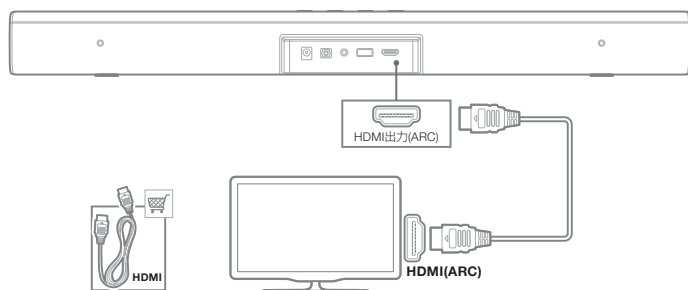
このセクションでは、サウンドバーをTVおよび他のデバイスに接続し、システム全体を設定する方法を説明します。

お持ちのTVへのサウンドバーの接続

お持ちのサウンドバーのTVへの接続。サウンドバーを通して、TV番組の音声を聴くことができます。

HDMI (ARC)を通してTVに接続する

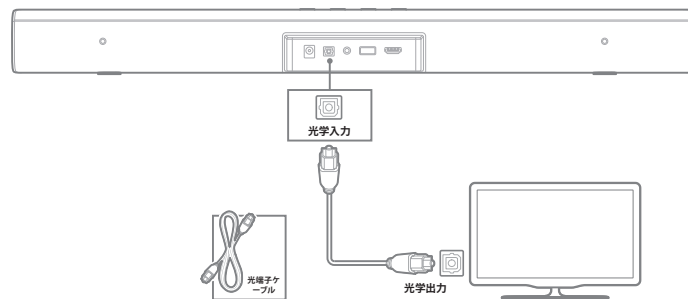
HDMIはデジタル・オーディオに対応しており、サウンドバーに接続する最善の方法です。TVがHDMI ARCに対応している場合は、1本のHDMIケーブルを使用してサウンドバーからTV音声を聴くことができます。



注意:TVのHDMI 機器連動機能がオンになっていることを必ずお確かめください。

光端子を通してTVに接続する

光端子接続はデジタル・オーディオに対応しており、HDMIオーディオ接続の代わりになります。

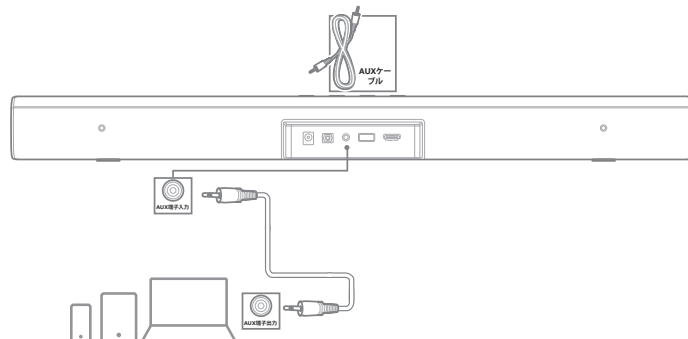


注意:TVオーディオ設定が「外部スピーカー」に対応しており、TV内蔵スピーカーが使用不可になっていることをご確認ください。

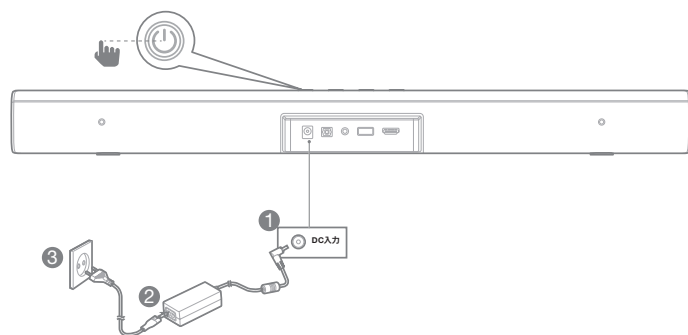
サウンドバーを他のデバイスに接続

アナログオーディオ・ケーブルでデバイスを接続する

アナログケーブルを使用して、サウンドバーのAUX端子入力(3.5mmジャック)をポータブル・デバイスのAUX端子出力/3.5mmコネクタに接続します。



サウンドバーシステムの電源を入れる



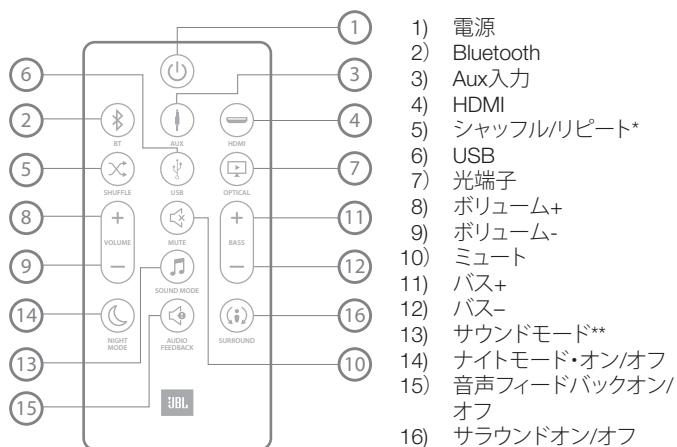
5. サウンドバーシステムを使う

1. コントロール

a. トップパネル・コントロールを使う



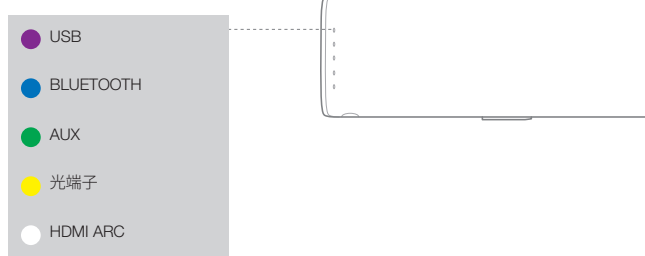
b. リモコンを使う



* USB再生用のみ。シャッフル/全曲リピート/1曲リピート/オフの順に切り替え

** スタンダード/ムービー/ミュージック/ボイス/スポーツサウンド・モードの順に切り替え

c. ソースLEDの表示



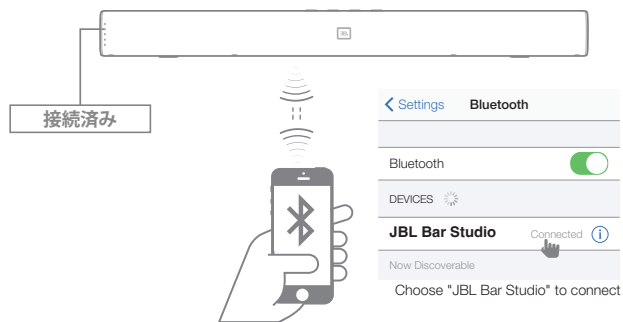
2. サウンドバーでBLUETOOTH機能を使う

a) リモコンのBluetoothボタンを押してBluetoothソースを登録します



b) 「JBL Bar Studio」を選択して、サウンドバーとペアにします

ステップ: 設定->Bluetooth->JBL Bar Studio



注:他のモバイル・デバイスとペアにしたい場合は、リモコンのBluetoothボタンを3秒間押し続けてください

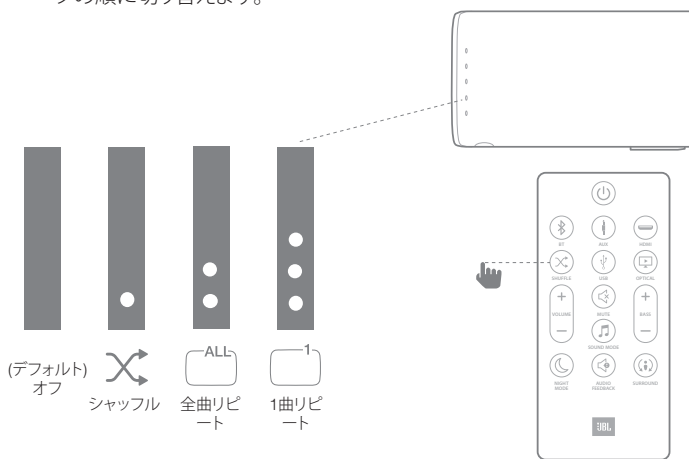
3. USBデバイスを使う

サウンドバーでUSBストレージ・デバイスに保存されている音楽ファイルを再生します。

1. お持ちのデバイスの背後にあるサウンドバーにUSB 2.0ドライブを接続します。
2. リモコンの「USB」ボタンを押します。USBが検出されれば、自動的に音楽再生が始まります。

シャッフル

「SHUFFLE」ボタンを押して、シャッフル/全曲リピート/1曲リピート/オフの順に切り替えます。



USBデバイスを接続する前に、以下のことに注意してください:

- 再生の順序は、USBデバイスの実際の物理アドレスの順です。
- このサウンドバーのファイルで再生できるのは、英数字のファイルのみです。他の言語や記号には対応していません。
- ファイルの転送中は、USBデバイスを取り外さないでください。
- DRMプロテクトがかけられた音楽ファイル(MP3、WMA)は再生することができません。

対応するUSBデバイス

- MP3プレーヤー: フラッシュメモリーMP3プレーヤー。
- USBフラッシュドライブ: USB 2.0に対応したデバイス。
- 一部のUSBデバイスには対応していないことがあります。

USBデバイスの使用条件

- コンピューターに接続して、プログラムの追加インストールが必要なデバイスには対応していません。
- 操作中は、USBデバイスを抜き取らないでください。
- 大容量USBの場合は、検出に数分以上かかることがあります。サウンドバーは2000以上のファイルの入ったUSBデバイスには対応していません。
- サウンドバーのUSBポートはPCには接続できません。サウンドバーはストレージ・デバイスとしては使用できません。
- このユニットでは、exFATおよびNTFSファイルシステムには対応していません。(FAT16/FAT32システムはご利用いただけます。)

- 一部のデバイスによっては、このユニット上で以下の機器を認識できないことがあります。

- 外付けHDD
- カードリーダー
- ロックされたデバイス
- ハードディスクのUSBデバイス
- USBハブ
- USB延長ケーブル
- iPhone/iPod/iPad
- Androidデバイス

6. サウンドの設定

このセクションをお読みいただくと、ビデオや音楽に最適なサウンドをお選びいただけます。

開始する前に

- ユーザーマニュアルに記載された必要な接続を行ってください。
- サウンドバー上で、他のデバイスに対応するソースに切り替えてください。



ボリュームの調整

- 「ボリューム+/-」ボタンを押して、ボリュームレベルを増加または減少させます。
- サウンドをミュートするには、「MUTE」ボタンを押します。
- サウンドが聞こえるようにするには、「MUTE」ボタンをもう一度押すか、「ボリューム+/-」ボタンを押します

サウンド・エフェクトを選択する

1. サラウンド・サウンドモード

- JBLサラウンド・サウンドモードにすると、臨場感のあるオーディオをご体験いただけます。
- サラウンドモードをオンまたはオフにするには、「SURROUND」ボタンを押します。

LEDの動作	
サラウンドオン	 LEDが白色で2回点滅し、次に5秒間白色で点灯します
サラウンドオフ	 LEDが白色で2回点滅します

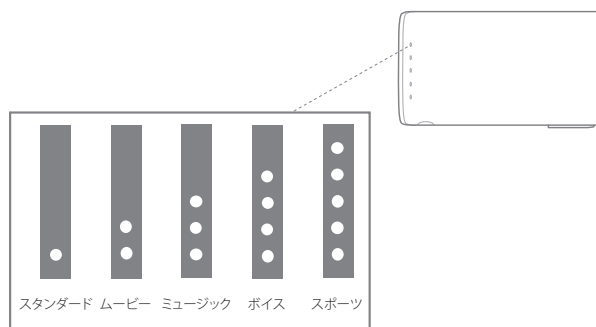
- オン: サラウンド・リスニング状態になります
- オフ: 2チャンネル・ステレオサウンド。音楽のリスニングに最適。

2. バス(低音域)

- 「BASS+/-」を押して、バスレベルを変更します。



3. サウンドモード

- ビデオまたは音楽に合う、用意されたサウンドモードを選択します。
- 「サウンドモード」ボタンを押して、サウンドオプションを選択します。
- オリジナル・サウンドを楽しみたい場合は「スタンダード」モードを選択します。
- 聞きたい内容に応じてミュージック、ムービー、ボイス、スポーツモードのどれかを選択します。



4. ナイトモード



- 静かなリスニング向けのナイトモードは、オーディオが再生される際、大音量のサウンドのボリュームを減少させます。
- ナイトモードは、Dolby Digital(ドルビー・デジタル)サウンドトラックでのみ、ご利用いただけます。
- ナイトモードをオンまたはオフにするには、「NIGHT MODE」ボタンを押します。

LEDの動作	
ナイトモードオン	 LEDが白色で2回点滅し、次に5秒間白色で点灯します
ナイトモードオフ	 LEDが白色で2回点滅します

5. 音声フィードバック

音声フィードバックにより、可聴音で特定の製品機能をお知らせすることができます。音声フィードバックがオンの場合、JBL Bar Studioに特有の動作のトーンが聞こえます:

- Bluetoothペアリング・モードに入る
- Bluetooth対応デバイスを接続する
- 最大ボリュームに達する
- サラウンドモードオン/オフ

LEDの動作	
音声フィードバックオン	 LEDが白色で2回点滅し、次に5秒間白色で点灯します
音声フィードバックオフ	 LEDが白色で2回点滅します

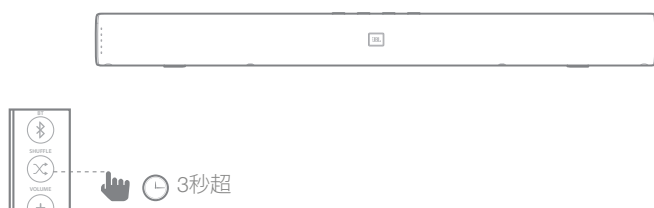
「SOUND MODE」ボタンを5秒間押し続けると、デフォルトのオーディオ設定に戻ります。

7. お持ちのTVリモコンに対応

TVリモコンを使用してサウンドバーをコントロールする

7a. サムスン、LG、ソニー、などの大部分のTVに対応*

サウンドバーはお持ちのTVリモコンに自動的に対応します。TVリモコンでコントロール可能な機能はボリュームアップ/ダウンとミュートです。この機能を使用できないようにしたい場合は、サウンドバー・リモコンのシャッフルボタンを押し続けます。



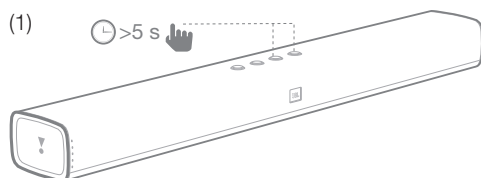
* 非対応のTVモデルには、セクション7bに従ってIR(赤外線)学習リモコンを行います

注意:

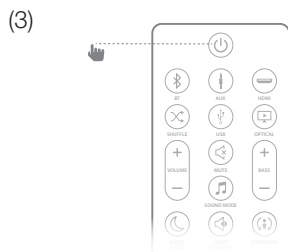
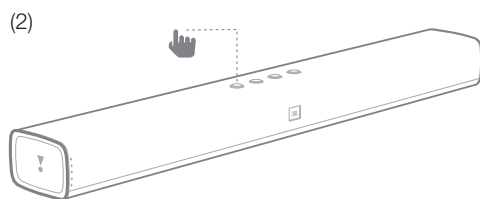
- TVのサウンド出力が「外部スピーカー」にセットされていることをご確認ください。
- リモコンによっては、この機能が正常に働かないことがあります。
- この機能はLG社製TVのマジックリモコンでは使えません。
- この機能は、HDMI 機器連動がオンの場合は正常に機能しないことがあります。
- 一部のリモコンでは、ボリュームボタンを何回も押した場合に、この機能が使えないことがあります。
- お持ちのTVリモコンがこの機能に対応していない場合は、セクション7bに従って、IR(赤外線)学習リモコンを行ってください。

7b.他のTVでは、IR(赤外線)学習リモコンをオンにします

サウンドバーをお持ちのTVリモコンに対応するようにプログラムするには、以下の手順に従ってください。ラーニングモードに入るには、最初に「ボリューム+」と「ソース(入力選択)」ボタンを押し続けてください。



次に、サウンドバー上の電源ボタンを押してからTVのリモコンの電源ボタンを押してください。



「ボリューム-」および「ボリューム+」でも同じ手順に従ってください。ミュートするには、サウンドバー上のボリューム+およびボリューム-ボタンを両方押して、TVのリモコンのミュートボタンを押してください。再度サウンドバー上の「ボリューム+」および「ソース」ボタンを5秒間押し続ければ、サウンドバーはTVリモコンに対応します*。

* TVのモデルによっては、サウンドバーがTVリモコンに対応しない場合もあります。

8.システム

1. オートスタンバイ

このサウンドバーは、ボタン操作をせず、接続デバイスからのオーディオビデオの再生がない状態で10分経過すると、自動的にスタンバイモードに切り替わります。

2. オート・ウェイクアップ

サウンドバーは、AUX、光端子、Bluetooth、HDMIソースなど、最後に検出した接続からオーディオ信号を感知すると、ユニットを自動的に*オンにできるシグナル・ディテクターを備えています。

* TVのモデルやソースデバイスによっては、デバイスが自動的にサウンドバーを起動できないこともあります。

3. 工場出荷時の設定の適用

このサウンドバーを工場出荷時にプログラムされたデフォルト設定に戻します。

- 任意のソースモードで、サウンドバーのトップパネル上の「ボリューム-」、「ボリューム+」および「ソース」ボタンを長押しします。

4. ソフトウェアのアップデート

JBLは今後、サウンドバーのシステム・ファームウェア用のアップデート・プログラムを提供することがあります。アップデート・プログラムが提供されている場合、サウンドバーのUSBポートにファームウェア・アップデート・プログラムが保存されたUSBデバイスを接続すれば、ファームウェアのアップデートが可能です。アップデートファイルのダウンロードに関する詳細については、www.JBL.comにアクセスするか、またはJBLコールセンターにご連絡ください。

9.製品の仕様

概要

- 電源入力 : 直流19V、2.0A
- トータル最大出力 : 30W
- スタンバイ時の電力消費量 : 0.5W未満
- サウンドバーのトランスデューサー寸法 : 2x2インチウーファー
2x1.5インチツイーター
- 最大音圧レベル : 90db
- 周波数特性 : 60Hz~20KHz
- 動作温度 : 0°C~45°C

入力および出力

- HDMIビデオ出力 : 1
(オーディオ・リターン・チャンネル対応)
- HDMI HDCPバージョン : 1.4
- オーディオ入力 : アナログ1、光端子1、Bluetooth、USB

Bluetooth部

- Bluetoothバージョン : 4.2
- Bluetooth周波数帯域 : 2402MHz~2480MHz
- 最大送信電力 : 9dbm(EIRP)
- 変調タイプ : GFSK、π/4 DQPSK、8DPSK

製品寸法と重量

- サウンドバー寸法(幅x高さx奥行) : 614x58x86(mm)\
24.2x2.3x3.4インチ
- サウンドバー重量 : 1.4kg\3.1ポンド
- パッケージ寸法(幅x高さx奥行) : 852x126x146(mm)\
33.5x5.0x5.7インチ

- パッケージ重量(総重量) : 2.76kg(6.1ポンド)

注意:JBL Bar Studioはサンプリングレートが96K以下のオーディオにのみ対応しており、96Kを超えるオーディオ・コンテンツには対応できません。周波数が96Kを超えるオーディオ・コンテンツを再生している場合は、ノイズ出力が発生することもあります。

10.トラブルシューティング

この製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点をチェックしてください。

システム

ユニットの電源が入っていない。

- 電源コードがコンセントとサウンドバーに差し込まれているかどうかを確認してください。

サウンド

サウンドバーから音が出ない。

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- リモコンで、適正なオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーからTVまたは他のデバイスにオーディオケーブルを接続してください。
- サウンドバーのトップパネルにある「ボリューム-」、「ボリューム+」および「ソース(入力選択)」ボタンを押し続けて、サウンドバーを工場出荷時の設定に戻してください

サウンド設定調整後、サウンドが異常である

- リモコンの「サウンド」ボタンを5秒間押し続けて、オーディオ設定をリセットしてください

サウンドまたはエコーが歪んでいる

- サウンドバーからTVの音を再生している場合は、TVがミュート状態でないかどうかをご確認ください。

Bluetooth

サウンドバーにソースデバイスが接続できない。

- ソースデバイスのBluetooth機能が使用できない。機能の使用方法についてはソースデバイスのユーザーマニュアルをご覧ください。
- すでにサウンドバーが別のBluetooth対応デバイスに接続されている。リモコンのBluetoothボタンを押し続けて、接続されていたソースデバイスの接続を解除し、再度お試しください。
- Bluetooth対応デバイスを再起動し、再度サウンドバーとのペアリングをお試しください。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ再生のクオリティが低い。

- Bluetoothの受信状態が悪い。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバー間にある障害物をどけてください。


接続したBluetooth対応デバイスが絶えず接続とその切断を繰り返す。

- Bluetoothの受信状態が悪い。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、Bluetooth対応デバイスとサウンドバー間の障害物をどけてください。
- 一部のBluetooth対応デバイスでは、電力を節約するため、自動的にBluetooth接続を停止させることがあります。この場合、サウンドバーは故障していません。

リモコン

リモコンが使えない。

- 電池が切れているかどうかを確認し、新しい電池と交換してください。
- リモコンとメインユニット間の距離が離れすぎている場合は、リモコンをユニットに近づけてください。

Торговая марка	: JBL
Назначение товара	: Активная акустическая система
Изготовитель	: Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стэмфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения	: Китай
Импортер в Россию	: ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс», Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
Гарантийный период	: 1 год
Информация о сервисных центрах	: www.harman.com/ru тел. +7-800-700-0467
Срок службы	: 5 лет
Товар сертифицирован	: 
Дата производства	: Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY0000000, где «M» - месяц производства (A - январь, B - февраль, C - март и т.д.) и «Y» - год производства (A - 2010, B - 2011, C - 2012 и т.д.).



ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社
(HARMAN International Industries, Incorporated) 8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2017 HARMAN International Industries, Incorporated(ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)。無断複写・転載を禁じます。JBLは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の、米国および/またはその他の国々の登録商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。The Bluetooth®のワードマークとロゴは、the Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)による使用は、使用許諾に基づくものです。他の商標および商標名は各所有者に属します。HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは米国およびその他の国でのHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。Dolby、Dolby Audio、Pro Logicおよびdouble-D symbolはDolby Laboratoriesの登録商標です。

TR04281_A